

図書だより

第2号
2019. 5. 7
福島県立只見高等学校
図書部



新しい時代も本を読もう

新しい令和の時代を迎えました。気持ちを新たに、様々なことに挑戦し、成長できる時代としたいですね。図書室では、皆さんが普段よく読む小説以外にも、自分の進路のヒントになる本や新しいことを発見できる本が多くそろっています。これを機会に、多くの本を読みましょ。本を読む人と読まない人では、考え方や想像力に大きな違いがあります。世界で活躍している人の多くは、学生時代にたくさんの本を読んでいました。皆さん、今がチャンスですよ。スマートフォンでゲームをするくらいなら、読書をした方が自分のためになります。ゲームをしている時間、少しでも読書に当ててみませんか。

4月の新着図書

- 『ぼくが葬儀屋さんになった理由』 富安徳久
『明日の農業に挑戦』 鶴蒔靖夫
『高校の勉強のトリセツ』 船登惟希
↑
勉強方法に悩んでいる人におすすめです。



4月の図書館事情

開館日数…18日
入館者数…390人
貸出冊数…34冊
1学年 … 4冊
2学年 … 2冊
3学年 … 19冊
職員 … 9冊

1年生、2年生の貸し出しがかなり少なくなっています。読書離れが進んでいます。1ヶ月に1冊でも良いので、本を読みましょ。

展示 進路を考える本

自分自身の進路について考えていますか？
1年生、早すぎる、なんてことはありませんよ。今から考えることが大切です。
2年生、そろそろ真剣に考えましょ。あと1年しかありません。
あなたは何を指すのですか？
3年生、本番です。突き進むのみ。図書室はがんばる3年生を応援します。勉強にも、調べ物にも、休憩にも利用してください。

自分自身の進路を決めるのは自分です。4月の展示は「自分と向き合う本」でした。自分についてしっかり考え、後悔しない進路を考えてください。今月の展示はそんな皆さんを応援するために、役立つ情報満載の本を選びました。少しでも手にとって、眺めてみてください。もしかすると、悩んでいたことのヒントが見つかるかもしれません。



4月の本の虫

4月は本の虫該当者はいませんでした。5月は借りる人が増えると嬉しいです。